

# 政大・北大 兩個原住民（先住民）中心 簽訂國際學術交流協定

政治大・北大兩校の原住民（先住民）センターの学術交流国際協定調印

Two Centers for Aboriginal/Indigenous Studies  
at NCCU and HU Signed an Agreement for International Academic Exchanges

李台元 國立政治大學原住民族研究中心 助理  
翻譯 石村明子

▶ 政大林碧炤  
副校長（左五）  
接見常本照樹（  
左六）簽約典禮  
與會來賓。



## 一、簽署協定書

政治大學原住民族研究中心在10月18日（週四）下午2點，在政大行政大樓七樓第二會議室，與日本北海道大學的愛努・先住民研究中心締結了學術交流協定。這是政大第一個中心對中心的國際學術合作簽約，特別具有重要的歷史意義，使國際化工作再添新頁。

簽約當日，政大校長到日本早稻田大學訪問，由林碧炤副校長先行接見，大家相談甚歡。簽約典禮由政大原住民族研究中心林修澈主任與日本北海道大學（簡稱北大）的愛努・先住民研究中心常本照樹主任簽署協定書。中研院史語所劉益昌教授、政大國際教育交流中心陳樹衡主任、行政院原民會林江義主任秘書（阿美族）、台灣文獻館謝嘉梁館長、台灣原住民族教授學會蔡中涵理事長（阿美族）、考試院伊凡諾幹委員

## 一、調印式

10月18日（木曜日）午後2時、政治大学行政大樓7階第二會議室にて、日本北海道大学アイヌ・先住民研究センターの学術交流協定の調印が行われた。これは政治大学における初のセンター同士での国際学術協定の締結で、特別な歴史的意義を持ち、国際化に新たな歴史を刻んだ。

調印式当日、政治大学長が早稲田大学を訪問して不在だったため、まず、林碧炤副校長と面会し歓談した。調印式典では、政治大学原住民族研究センター長・林修澈氏と日本北海道大学（以下「北大」）アイヌ・先住民研究センター長・常本照樹氏が協定書に署名した。また、中央研究院歴史言語研究所・劉益昌教授、政治大学国際教育交流センター・陳樹衡センター長、行政院原住民族委員会・林江義秘書長（アミ族）、国史館台湾文献館・謝嘉梁館長、台湾原住民族教授学会・蔡中涵理事長（アミ族）、考試院・イバン・ノカン委員（タイヤル族）、政治大学社会科学学院・高永光院長、政

(泰雅族)、政大社科院高永光院長、政大日語系傅琪貽教授、中研院民族所黃智慧教授等人，均受邀蒞臨致詞。簽訂交流協定書的重點，在於雙方日後可以進行研究人員的交流、學術資料與資訊的交換，以及共同研究及研討會的實施等事項。

北大愛努・先住民研究中心籌備期間，曾於2006年派考古學教授加藤博文來台考察，在中研院史語所劉益昌教授的推薦下至政大原住民族研究中心。現任主任常本照樹教授也曾於2006年9月受邀來台參與政大原住民族研究中心舉辦的「舊社與新民族自治國際學術研討會」。今年8月20至25日，政大原住民族研究中心林修澈主任受邀到北大，參與愛努・先住民研究中心舉辦的「台灣・原住民族法」學術工作坊，並進入愛努族地區參訪。

## 二、簽約兩中心主任的致詞

日本北海道大學 愛努・先住民研究中心 常本照樹主任

北大和政大在社科院及法學院都曾簽署學術交流協定，當時我在擔任法學部副主任之時，也曾受到政大很多照顧。今日很高興到政大簽署這項協定，相信將來有更好的交流成果。



治大学日本言語学科・傅琪貽教授、中央研究院民族學研究所・黃智慧教授等の來賓により祝辭をいただいた。交流協定書の調印の主な内容は、今後の双方の研究者の交流、學術資料や情報交換、共同研究、シンポジウムの共同開催などである。

北海道大学の当センター準備期間中、2006年に考察のため來台した考古学の教授・加藤博文氏が、中央研究院歴史言語研究所・劉益昌教授の推薦で政治大学の原住民族研究センターを訪れた。また、現センター長である常本照樹教授も2006年9月に政治大学原住民族研究センター主催の「旧社と新民族自治国際學術シンポジウム」に参加するため來台した。今年8月20日から25日まで、政治大学原住民族研究センター長・林修澈氏は北海道大学アイヌ・先住民研究センターの招待を受け、「台灣原住民族法」ワークショップに参加した他、アイヌ民族の居住地域を訪問した。

## 二、協定を結ぶ両センターのセンター長による挨拶

北海道大学 アイヌ・先住民研究センター 常本照樹センター長

北大と政治大の社会科学学院、および法学院同士では、かつて學術交流協定を結んでおり、以前、私が法学部の副学部長を務めておりました時に、政治大にはいろいろとお世話になりました。本日は政治大で協定を結ぶことができ、大変うれしく存じます。また、よりよい交流の効果が現れることと期待しております。

## 政大・北大 兩個原住民（先住民）中心 簽訂國際學術交流協定

北大在今年四月遵照中村校長的指示，成立愛努・先住民研究中心，他認為北大在愛努族地區成家立業，應當要成立研究中心，回饋愛努民族。今年四月起，本中心舉辦了一連串的研討和演講活動。自今年十月起，招攬了九位研究員，今後將展開更多的活動。今年八月，受到政大原住民族研究中心的協助，舉辦了學術工作坊，希望在這個協定簽署之後，兩中心能有更密切的合作。透過這個協定，不僅希望從政大這裡獲得許多關於原住民族研究的經驗，更希望能夠在原住民族研究上貢獻心力。

### 政大原住民族研究中心 林修澈主任

今天請來的這些來賓，長期以來都與本中心有密切的關係。本中心之所以能成立，有兩位重要的催生人物——林江義主秘和蔡中涵委員，在七年前，他們提供了一筆經費。協助成立本中心，當時為了全面提升台灣的原住民族學術發展，他們認為最適合原住民族研究生存的地方就在政大。由於這幾年來的經營，才讓政大的研究得到肯定，而在今年受到政大提升為校級中心。



北大では中村前総長の指示の下、今年の4月にアイヌ・先住民研究センターが設立しました。北大はアイヌ民族の土地で名を揚げ発展したのだから、研究センターを立てて、アイヌ民族の人々に還元するべきである、というのが総長の考えです。今年の4月以降、当センターではさまざまな講演会やワークショップを行ってまいりました。また、今年の10月より、9名の研究員を招聘しまして、今後はより一層の活動を期待できることと存じます。今年の8月、政治大学原住民族研究センターの協力を得て、ワークショップを行いました。この協定を結んでから、お互いにより一層密接な協力ができるよう望んでおります。また、この協定を通じて、

政治大より先住民族研究の経験を大いに学びとり、先住民族研究の上で力を貢献できれば、と存じます。

### 政治大学原住民族研究センター 林修澈センター長

本日お越しいただいた来賓の皆様は、長期にわたって当センターと密接な関係をお持ちです。このセンターが設立されたのも、その誕生を促した二人の重要な人物、林江義秘書長と蔡中涵委員がいらしたからです。七年前、お二人より経費をいただき、このセンターの設立に協力していただきました。当時は台湾における原住民族関連の学術を全面的に発展させるには、政治大こそ原住民族の大学院生が籍を置くのに最もふさわしい場所だと、お二人は考えられたのです。ここ数年の運営により、政治大の研究もようやく評価していただけるようになり、今年には政治大の学校直轄のセンターに昇格することができました。

剛才陳樹衡主任提到，兩中心締結學術協定，彷彿是結婚，應該早生貴子。兩中心的成立，與愛努族和原住民族這個研究對象有關，如何讓原住民族或愛努族得到長足的發展，是兩中心設立的目的。做學術研究的最後目的，是關懷我們的研究對象，讓他們得到發展。如果用這樣的意義來解釋，那麼「早生貴子」的祝詞，我們欣然接受。

與北大合作，對我們來講壓力很大，而常本教授又是很勤快的人，讓我們感到壓力更大。今年八月，受邀到北大報告本中心的研究成果，在場的五十人裡，有一半以上是教授，提問的問題也是直截了當，與台灣的研討會的大拜拜形式不同，也讓我們感受到日本人做學問的研究態度，使我們戰戰兢兢。相信在大家的督促與關愛之下，兩中心的合作可以得到長足的發展，也希望兩邊在很近的未來裡，能有很好的成果來回報。

### 三、蒞臨祝賀九位來賓的致詞

中研院史語所 劉益昌教授

我的一位在北大教歷史的朋友——考古學家吉開將人教授，他看到北大有大批台灣考古資料，



先ほど陳樹衡センター長より、両センターの学術協定締結は結婚するようなものなので、お子さんが早く生まれますように、というお言葉を賜りました。両センターの設立は、アイヌ民族と原住民族を研究の対象としていることに関連し、いかに原住民族やアイヌ民族が目覚しい発展を遂げさせるか、というのが両センター設立の目的です。学術研究の最終目的は、研究対象者に対する思いやりであり、彼らをいかに発展させるかということです。このような意義から解釈すると、「お子さんが早く生まれますように」というお祝いのお言葉は、ありがたく賜りたいと存じます。

北大との協定は、私たちにとって大きな圧力ですが、常本教授はまめな方で、私たちにとっては更に大きな圧力です。今年8月、当センターの研究成果を発表するよう北大よりお招きいただきましたが、ワークショップに来ていた50人中半分以上が教授で、質問も単刀直入で、台湾のシンポジウムのお祭り形式とは違い、日本人の学問に対する研究の態度を肌身で感じ、戦々恐々としてしまいました。皆様の励行とお心遣いにより、両センターの協力は目覚しい発展を遂げることができると信じております。また、近いうちに優良な成果をもって還元できれば、と存じます。

### 三、来賓9名による祝辞挨拶

中央研究院歴史言語研究所 劉益昌教授

私の友人である、北大で歴史を教えている考古学者の吉開将人教授が、北大に台湾の考古学資料がたくさんあるのを見て、私を北大に呼んだの

## 政大・北大 兩個原住民（先住民）中心 簽訂國際學術交流協定

就邀請我到北大，希望能夠瞭解北大的考古研究成果，以往台灣的學者對北大並不瞭解。

愛努民族和北海道的歷史，台灣原住民族和台灣的歷史，兩者形成的過程非常接近。個人覺得非常有意義的是跨國的合作對同一個主題的研究，個人關注的不只是內部的研究，個人特別注意從外面看內部，兩個單位的合作剛好可以互相觀照，這就是跨國合作最大的收穫，也希望以後這兩個單位在這方面有很大的收穫。

### 政大國際教育交流中心 陳樹衡主任

政大國際化中最凸顯的國家是日本，社會科學學院與日本京都大學也簽了姊妹院，這些合作都加深了政大與日本的合作深度。國交中心特別想把與日本的合作管道從校級、院級，擴展到研究中心，希望能夠幫研究中心跟其他研究中心建立合作平台。在這樣的想法裡，第一個讓我們美夢成真的是政大原住民族研究中心與北大愛努・先住民研究中心的合作協定。這樣的合作在其他中心未來合作的模式上起了示範作用，希望這樣的一個里程碑，對我們有很大的意義，我們希望政大原住民族研究中



です。これまで台湾の学者は北大をあまりよく知らなかったので、北大の考古学研究成果を理解してほしい、という希望でした。

アイヌ民族と北海道の歴史、そして台湾原住民族と台湾の歴史、この両者の形成過程は非常に接近しています。個人的に非常に意義があると思うのは、国際協定における同一のテーマの研究に対してです。内部の研究だけではなく、外面から内部を見るということにも特に注意を向けるべきでしょう。また、両機関の協定はお互いに観察しあうことができ、これは国際協力において最大の収穫が得られる点です。この二つの機関がこの点において大きな収穫を得られますよう望んでおります。

### 政治大学国際教育交流センター 陳樹衡センター長

政治大の国際化にて最も目立っている国は日本で、社会科学学院と日本の京都大学も姉妹学部提携を結び、これらの協定は政治大と日本側との協力を更に深めております。国際教育交流センターでは特に日本との協力のチャンネルを学校や学部から研究センターに広げ、研究センター同士が協力関係を樹立する際の媒介になることができれば、と望んでおります。このような考え方において、最初にこの夢をかなえてくれたのは政治大原住民族研究センターと北大アイヌ・先住民研究センターの協力協定でした。このような協力は他のセンターが将来協力関係を築く上での模範になるものであり、このような里程碑が私たちにとって大きな意義をもつことを望み、政治大原住民族研究センターと北大アイヌ・先住民研究センターが近いうちに研究成果を出せることを

心和北大愛努・先住民研究中心很快就研究成果，希望兩中心能「早生貴子」。

#### 行政院原民會 林江義主任秘書

代表行政院原住民族委員會祝福政大與日本北大，簽訂有關學術交流的協議。原民會這幾年不斷與非邦交國訂備忘錄或協定，比如與紐西蘭、加拿大等，這樣的協定對我們的國際事務非常有幫助。今天看到政大原住民族研究中心與北大愛努・先住民研究中心簽訂這樣的協定，我相信未來一定有非常多且豐富的研究成果。



#### 政大社會科學學院 高永光院長

政大社科院和國際事務學院以及法學院已經和北大的法學院有學術上的協定。政大和北大兩校之間的關係非常密切，至少兩校的這兩個中心已經開花，接下來希望早日看到結果，誠如剛才陳主任所說的「早生貴子」。希望提升為校與校之間的交流關係，希望常本教授能夠將這個訊息帶回日本。兩個學校有三個單位建立交流協定，應該可以建立校與校之間的交流的關係，衷心的期盼更多校與校之間合作關係。



望み、そして両センターの「お子さんが早く生まれますように」祈ります。

#### 行政院原住民族委員會 林江義秘書長

政治大と日本の北大の学術交流に関する協議の提携に対して、行政院原住民族委員会を代表してお祝い申し上げます。原住民族委員会はここ数年、ニュージーランドやカナダなど、国交のない国とも絶えず備忘録や協定を取り決めており、このような協定は我々の国際事務にとって非常に有効であります。本日は政治大原住民族研究センターと北大アイヌ・先住民センターのこのような協定を目的することができましたが、将来必ず豊富な研究成果を多く上げられるものと信じております。

#### 政治大学社会科学学院 高永光院長

政治大社会科学学院と国際事務学院、および法学院はすでに北大の法学部と学術提携を結んでいます。政治大と北大の両校は非常に密接な関係にあり、少なくとも両校のこの両センターはすでに開花したといえるでしょう。これに続いて、陳センター長が先ほどおっしゃった「お子さんが早く生まれますように」というお言葉のように、近いうちに実りの時期が来ることを期待しております。また、これを学校同士の交流関係に高めることができるよう、常本教授には是非この情報を日本に持って帰っていただきたいと存じます。二校間には3つの機関による交流協定が樹立されており、学校同士の交流も樹立できるかと存じます。また、さらに多くの学校同士の協力関係が生まれることを切望しております。

## 政大・北大 兩個原住民（先住民）中心 簽訂國際學術交流協定

### 國史館台灣文獻館 謝嘉梁館長

很高興見證今天重要的一刻。政大原住民族研究中心與愛努・先住民研究中心簽訂合作的協定，我覺得非常有意義。政大原住民族研究中心很早成立，且是國內成果斐然的中心，今天這個台灣最好的中心與日本國內大學唯一的中心的結合，真的是很難得，是學術界的一大盛事。預祝兩中心交流的研究成果能夠早一點顯現出來。



### 国史館台湾文献館 謝嘉梁館長

本日は重要なひとときを目撃することができ、まことに嬉しく存じます。政治大原住民族研究センター北大アイヌ・先住民研究センターの協定締結の協議が行われたことは、非常に有意義だと存じます。政治大原住民族センターは以前から設立されており、国内でも優れた成果を上げているセンターで、本日台湾で最も優れたこのセンターと日本の国立大学で唯一のセンターの組み合わせは、本当に得がたいものであり、学術界における大きな出来事でもあります。両センターの交流による成果が近いうちに現れますことを事前にお祈りいたします。

### 台灣原住民族教授學會 蔡中涵理事長

常本教授在北大研究愛努民族，此時日本簽署了聯合國的原住民族權利宣言，對常本教授研究愛努民族而言，是很好的基礎，加上林主任這邊的團隊，相信未來的合作會非常成功。北海道愛努族到1997年才被承認為先住民，台灣的原住民比較幸運，很早就成為原住民。這樣的過程，將成為未來合作的一部分。



### 台湾原住民族教授学会 蔡中涵理事長

常本教授は北大でアイヌ民族について研究していらっしゃるようですが、この度日本は国連の先住民族権利宣言にも署名をし、これは常本教授のアイヌ民族研究にとっても良い基礎となるかと存じますが、こちらの林センター長のチームを加えれば、将来の協力は非常に成功したものとなるかと信じております。北海道のアイヌ民族は1997年に先住民として認められましたが、台湾の原住民は比較的恵まれており、早くから原住民として認められていました。このようなプロセスは将来の協力の一部分になるものと存じます。

### 考試院 伊凡諾幹委員

全球3.7億的原住民族正遭受壓迫，都面臨相同的困境，民族的主體性式微。政大原住民族研究中心長期以來在培育



### 考試院 イバン・ノカン委員

全世界に3.7億人いる原住民が圧迫を受け、共に同じような苦境に直面しており、民族の主体性が衰えてきています。政治大原住民族研究センターは長期にわたり、原住民族の学術的人材を育て上げ、原住民族関連の学術

原住民族的學術人才和推動原住民學術研究，以及國際交流方面，都做了很多的工作，在台灣社會被高度肯定。北大北方研究有非常悠久的歷史，累積了很多的學術成果，北大愛努・先住民研究中心成立之後，事實上做了很多事情，例如舉辦了多場的學術演講。個人覺得政大原住民族研究中心能夠一馬當先與北大愛努・先住民研究中心簽訂學術合作，是很有遠見的，我也表示祝福。

## 政大日本語學系 傅琪貽教授

我在國際原住民年，去北海道拜訪時，認識了常本教授。去了北海道之後，發現愛努人與台灣原住民有些地方很雷同。雖然我目前仍然熱衷於台灣原住民族的研究，但是非常希望今天的兩個中心的合作能夠多提供一個角度去瞭解北方民族與南島民族的差異性和共同性。



研究を進め、国際交流においては多くの仕事をこなし、台湾社会において高い評価を得ています。北大の北方研究は非常に長い歴史を持ち、多くの学術的成果を積み重ね、北大アイヌ・先住民族研究センターが成立してからは、実際、学術講演など多くのことを成し遂げてきています。個人的には、政治大原住民族研究センターが率先して北大アイヌ・先住民研究センターと学術協力の締結を結んだことは、先見の明があると存じます。私も祝福の意を表します。

## 政治大学日本語学科 傅琪貽教授

私は国際先住民年に北海道を訪問し、その際、常本教授と知り合いました。北海道に行ってからアイヌ人と台湾の原住民は共通点があることに気が付きました。現在私は台湾原住民族の研究を熱心に進めていますが、本日の両センターの協力が北方民族と南島民族の差異と共通点についてより多くの視点を与えてくれることを期待いたします。

## 中研院民族所 黃智慧教授

本次簽約是政大原住民族研究中心與北大愛努・先住民研究中心的學術研究的友好關係的開始，我相信會有一個很好的開始，而且我們的學生，不只是政大，國內其他民族學的學子都可以透過政大原住民族研究中心，受惠於他們所做的這樣的一個努力。期待在座的學生當中也有人能夠接下這個棒子，來進行日本有關愛努的研究。



## 中央研究院民族学研究所 黃智慧教授

この度の協定は政治大原住民族研究センターと北大アイヌ・先住民研究センターの学術研究の友好関係の始まりであり、良い始まりになると信じております。また政治大の学生だけではなく、他校で民族学を学ぶ台湾の学生たちも政治大原住民族研究センターを通じて、政治大原住民族研究センターによる今回の努力の恵みを受けることができるでしょう。また、今この場にいる学生さんたちがこのバトンを受け継ぎ、アイヌ関連の研究を行うことを期待しております。